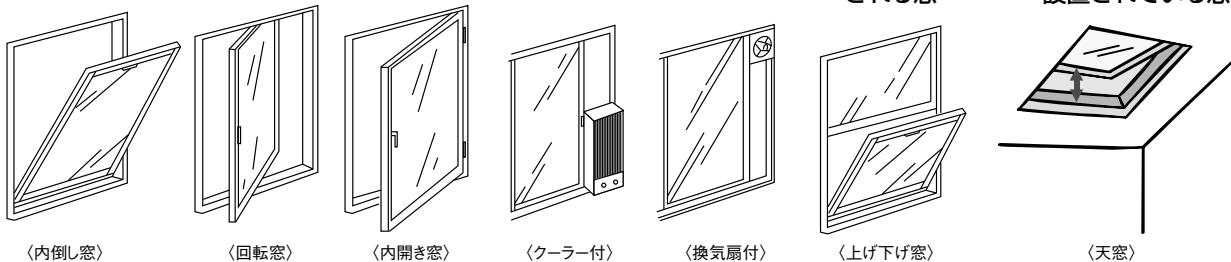


発注・施工上のご注意

【取付けできない窓】

- 「インプラス」は商品特性上、下図の窓には取付けられません。
- 開閉機構から、取付けられない窓
- 内側に造作されている窓
- 清掃時内倒しされる窓
- 垂直壁面以外に設置されている窓



※窓枠にカーテン等が付いている状態でインプラスを取付けると、サッシとカーテンの間隔は少なくなります。

結露がカーテンに付着しやすくなる場合があります。

※垂直壁面の開口部以外には取付け出来ません。(例:天窗)

※窓枠正面にカーテンレールBOX等がある場合はふかし枠を取付けできません。

【開口寸法の実測について】

①H1、2、3の3ヶ所を実測し、その最小値をH寸法とします。

②W1、2、3の3ヶ所を実測し、その最小値をW寸法とします。

③H1～H3、W1～W3、L1～L2の寸法差が3mm以内であることを確認してください。

※必ず実測した寸法の最小値をHW寸法としてください。発注寸法が開口最小寸法より大きい場合、取り付け後に部材が波打つおそれがあります。

※発注寸法が開口最小寸法より小さい場合、気密性能の低下や、障子のガタツキなどが生じるおそれがあります。

※開口寸法は正確に測定し、寸法差がある場合は、オプションの平板等を使い、開口を修正します。

また、すき間等気になる場合は、オプションの充てん材をご使用ください。

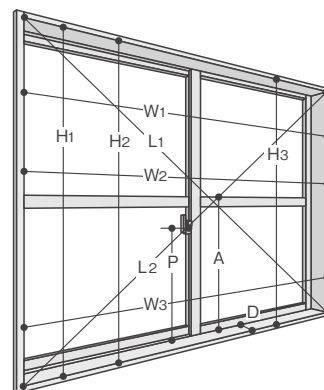
※寸法差が許容範囲内であり、かつ障子の建付調整を行った状態であっても、窓枠のねじれ等により隙間やガタツキが生じるおそれがあります。隙間やガタツキが気になる場合は、オプションの平板等を使い、開口を修正してください。

※開口に寸法差がある場合、障子の建て付け調整後の召合枠が内外で横にずれる可能性があります。性能確保のため、召合

枠のずれが左右に3mm以内であることを確認してください。ずれが気になる場合は、平板等を使い開口を修正してください。

※コーナー方立使用時の採寸方法につきましては、P.50をご参照ください。

※化粧額縁取付時のインプラス本体の発注寸法は3方額縁使用時:H-1mm、W-2mm 4方額縁使用時:H-2mm、W-2mmとなります。

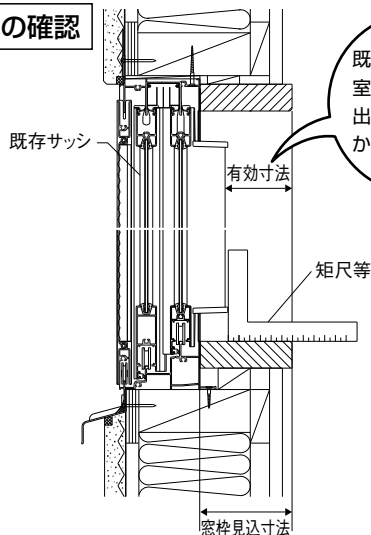


【窓枠の見込み寸法について】

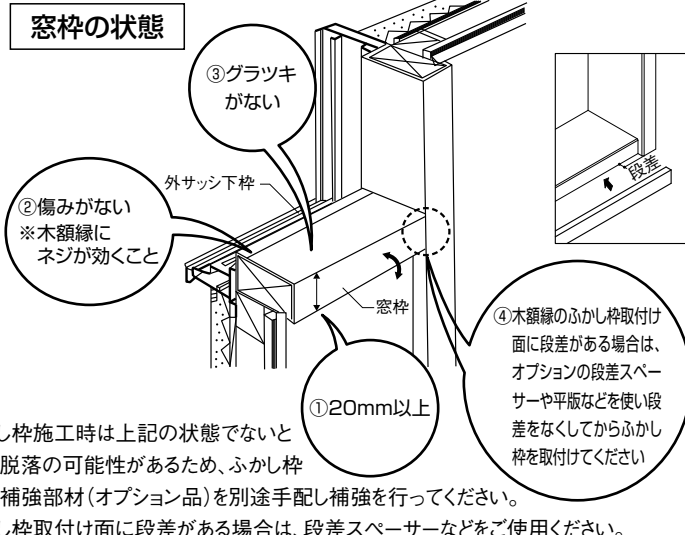
窓種 オプション	必要な 有効寸法	有効寸法が不足する場合	注意点
引違い窓	70mm	「ふかし枠」をご使用ください。 ふかし枠 20: 50mm ≤ 有効寸法 ≤ 69mm ふかし枠 40: 30mm ≤ 有効寸法 ≤ 49mm ふかし枠 50: 20mm ≤ 有効寸法 ≤ 29mm ふかし枠 70: 0mm ≤ 有効寸法 ≤ 19mm	外窓のクレセントが内窓に当たらないように取付けてください。 ふかし枠40、50、70の場合は窓枠見込寸法が40mm以上必要です。 【クレセントが内窓に当たる場合の対応】 ・外窓とインプラスのクレセント位置をずらす。・ふかし枠により外窓との間隔を広げる。 ・外窓が当社製品の時は外窓クレセントをハンドルが小さい物に替える。
開き窓	55mm	「ふかし枠」をご使用ください。 ふかし枠 20: 35mm ≤ 有効寸法 ≤ 54mm	ふかし枠40、50、70の場合は窓枠見込寸法が40mm以上必要です。 外窓のハンドル、ドアクローザーが内窓に当たらないように取付けてください。 有効寸法はハンドル、ドアクローザーの出幅部からの寸法になります。 (外窓のハンドル操作に25mm程度の空間が必要です。)
テラスドア	55mm	ふかし枠 40: 20mm ≤ 有効寸法 ≤ 34mm ふかし枠 50: 5mm ≤ 有効寸法 ≤ 19mm ふかし枠 70: 0mm ≤ 有効寸法 ≤ 4mm	
FIX窓	55mm	「ふかし枠」をご使用ください。 ふかし枠 20: 35mm ≤ 有効寸法 ≤ 54mm ふかし枠 40: 15mm ≤ 有効寸法 ≤ 34mm ふかし枠 50: 5mm ≤ 有効寸法 ≤ 14mm ふかし枠 70: 0mm ≤ 有効寸法 ≤ 4mm	
連窓方立	75mm		
コーナー方立	75mm	部屋内側に造作材を取付けてください。	コーナー方立には、ふかし枠は使用できません。
段窓無目	75mm		

【採寸時のご注意】

有効寸法の確認



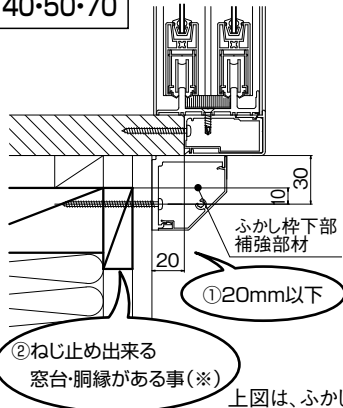
窓枠の状態



※ふかし枠施工時は上記の状態でない
内窓脱落の可能性があるため、ふかし枠
下部補強部材(オプション品)を別途手配し補強を行ってください。
※ふかし枠取付け面に段差がある場合は、段差スペーサーなどをご使用ください。

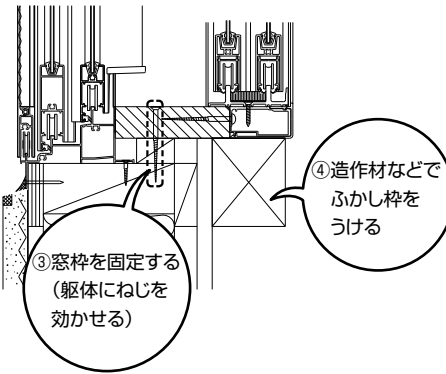
【ふかし枠補強例】

ふかし枠 40・50・70



上図は、ふかし枠50の場合の納まり例です。

①、②が当てはまらない場合、造作材を使用し補強を行ってください。

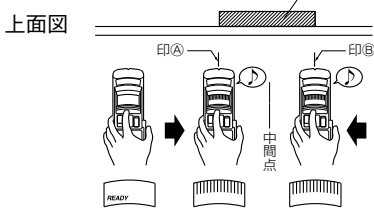


ご注意

ふかし枠は窓枠の状態により補強が必要になる場合があります。また、立ち上がりのある掃出し納まりの場合は必ず補強③、④を全て行ってください。製品が破損するおそれがありますので、施工時には人が乗ったり、踏みつけたりしないでください。

※窓台・胴縁の位置は建築図面・打診・壁裏探知機・下地探し針などによって確認してください。

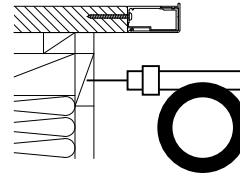
(壁裏探知で確認の場合)



(下地探し針で確認の場合)

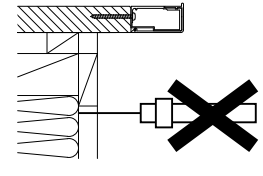
●窓台・胴縁がある場所

※胴縁に当たり、手ごたえがあります。



●窓台・胴縁がない場所

※手ごたえがありません。



【引違い窓3枚建発注時の寸法指定について】

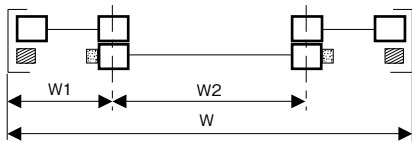
引違い窓3枚建を発注される際には、W方向の「W」「W1」「W2」を実測し指定してください。

☐ : クレセント

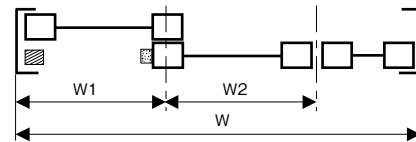
▨ : 障子ストッパー

①外障子－内障子－外障子

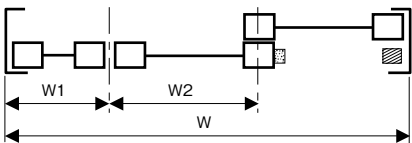
※中央部の障子のみを左右に可動することは困難です。



②外障子－内障子－内障子



③内障子－内障子－外障子



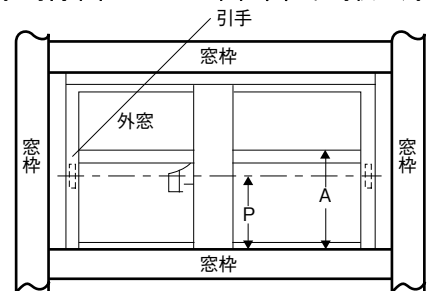
【引違い窓クレセント位置・中棧位置の指定について】

外窓とインプラスのクレセント、中棧位置を合わせたいときは、外窓のP・A寸法を正確に測定してください。

※中棧(A)を指定の場合には、クレセント位置(P)は[SG]P=A-102.5、[PG]P=A-110となります。※引手位置とクレセント位置(P)は同寸法です。

P・A寸法範囲

	開口寸法H(mm)	P・A寸法(mm)の条件
引違い窓 (クレセント位置指定)	258≦H≦331	91.5≦P≦146
	332≦H≦480	120≦P≦220
	481≦H≦1400	H/4≦P≦3H/4かつH-P≦800
	1401≦H	H/4≦P≦3H/4かつH-P≦1644
引違い窓(中棧位置指定)	[SG] H/4+102.5≦A≦3H/4+102.5かつH-A≦1541.5 [PG] H/4+110≦A≦3H/4+110かつH-A≦1534	
引違い窓(中棧・クレセント別指定)	1401≦H	[SG] A>Pの場合A≧P+102.5 A<Pの場合P≧A+34.284≦H-A≦1984 [PG] A>Pの場合A≧P+110 A<Pの場合P≧A+26.5.284≦H-A≦1984



P-窓枠上面よりクレセント中心までの寸法
A-窓枠上面より中棧上面までの寸法